

協議会だより

第2回「晴海地区新設小学校中学校建設準備協議会」が開催されました。

協議会では、新設される小学校、中学校の建設コンセプトがまとめられました。



第2回協議会

日時：平成29年9月14日（木曜日）午後6時から7時まで
場所：晴海中学校 会議室

建設コンセプト

コンセプト

「輝く未来を地域と築く、新しいまちの学び舎」

サブタイトル

— 子どもたちがのびのびと笑顔ですごせる、
地域とともに成長する学校 —

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の中心となる選手村跡地に新設される小学校と中学校は、晴海五丁目開発の中で、晴海地区全体と調和した新しいまちの拠点として、子どもたちとまちの皆さまにとって自慢となる学校とします。

①未来に向けて、子どもたちが、「知・徳・体」を兼ね備え、地域を担い、世界にはばたく人材を育む場として、小中一体整備の利点を生かし、ゆったりとした空間を確保するとともに、緑豊かな環境を実現します。

②地域活動の拠点となるよう、積極的に体育館やプール等の地域開放を行うとともに、災害時には、防災の拠点としても機能するよう設備の充実を図ります。

③東京2020大会の選手村レガシーを活用しつつ、将来にわたってこの地域の拠点であり続けるよう、まちの成長や社会の変化に対応する可変性を持たせ、地域とともに成長していける施設づくりを心がけます。

①「学びの場としての学校」、②「まちの拠点としての学校」、③「地域とともに成長する学校」という三つの視点から新しいまちの象徴となる学校づくりを推進します。



《大会レガシーについて》

- (委員) 東京2020大会で実際に使用されていたものが学校に残せると大会を伝えるレガシーとなるのではないかと思います。
- (委員) 前回の東京大会のレガシーである代々木のオリンピック記念青少年総合センターのように、新しい学校もレガシーを感じさせる施設となるよう期待しております。
- (委員) 学校だけでなく埠頭等を含めた地域全体でレガシーを残せたら良いと思います。

《必要諸室について》

- (委員) 小学校と中学校で共用する設備は、授業や行事で実際の使われ方を基に適正に運営できるかを検討し必要に応じて、重複した設備を作るかどうかも含めて決めていただきたい。
- (委員) 体育館は常設と格納式のステージがあると便利ではないかと思います。
- (委員) 体育館やプールは豊海小学校の改築の協議でも設計案でいろいろな意見が出ていたが、非常に評判の良いものができあがった。今回もそのようになると良いと思います。
- (事務局) 今回いただいたご意見等を含め、いろいろな角度で基本設計に向けた校舎の配置や必要諸室の数を検討し、次回の協議会で提示していきたいと思います。

《地域開放について》

- (委員) 地域開放でたくさんの人が使えるようにしてもらいたい。
- (委員) 地域開放される設備の使い方や利用のためのルールは、地域の住民が分かりやすいものを考えていただきたい。

《その他》

- (委員) 提案されたコンセプト案は良いものだと思います。
- (委員) 選手村に使用する木材を再利用すると聞いておりますが、そうしたものをどの様に利用するのですか。
- (事務局) どのような木材が出るかなど、具体的な調整を組織委員会が現在行っている状況と聞いています。今後そうしたことが分かれば積極的に活用していきたいと考えております。
- (委員) 芝のグラウンドも検討してもらいたい。
- (委員) 現場を良く知る先生の意見を生かした設計をしてもらいたい。